

ニホンザリガニ に間違われるアメリカザリガニ



新潟の平野部で撮影したこのザリガニは？ …実は両方とも“アメリカザリガニの幼体”
“ニホンザリガニ”と間違われることも少なくないので、要注意！



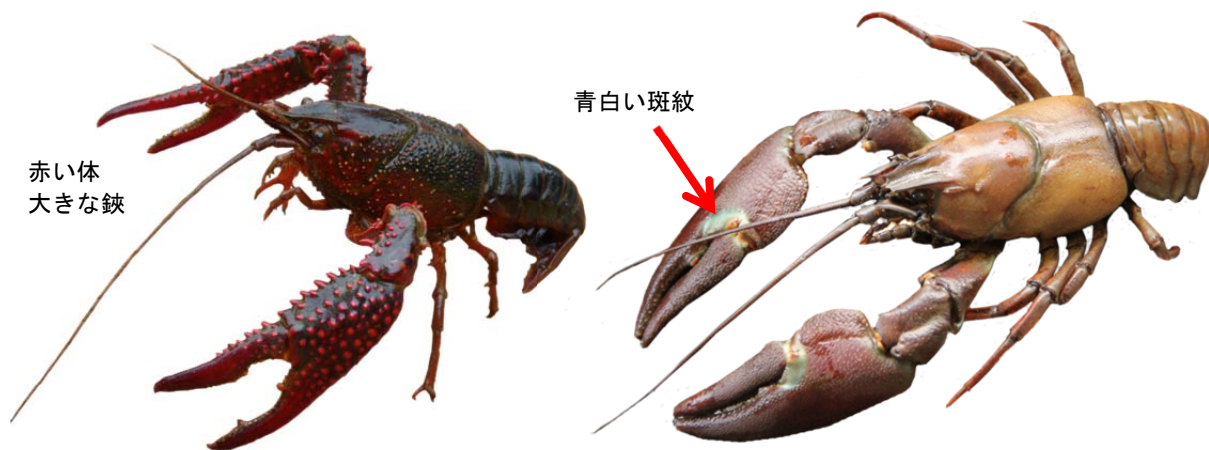
アクアマリンいなわしろ カワセミ水族館にて



栃木県日光市

◆ニホンザリガニ：日本列島固有の在来種

体長 5～6cm(最大8cm)でアメリカザリガニより小型、体は茶褐色で、胴体や脚は太短い。北海道・青森県および秋田県・岩手県の一部に分布。低水温の湖沼や河川源流部に住む。栃木県日光市に北海道から移入されて定着しているが、新潟県内には分布していない。原産地では、移入されたウチダザリガニ(特定外来生物)による捕食や、ウチダザリガニが持ちこんだザリガニカビ病によって絶滅の危機にある。



赤い体
大きな鉗

青白い斑紋

◆北アメリカ原産の2種類のザリガニ 左)アメリカザリガニ 右)ウチダザリガニ(両方オス)

- ・アメリカザリガニ：最大体長 13cm、成体は赤味を帯びる。高水温にも強く、佐渡島を含む全県に分布。食用ガエル(ウシガエル)の餌として持ちこまれたという。ザリガニカビ病に抵抗性がある。
- ・ウチダザリガニ：最大体長 15cm、鉗脚を含めると 25cm。体は褐色で、鉗脚の付け根に明るいブルーの斑紋。北海道から福島裏磐梯に移入、阿賀川を下り新潟県内に分布拡大中。